

質問順 第463回 平成24年9月定例会 一般質問通告一覧表 富士見町議会 【9/10(月)1番～5番 9/11(火)6番～10番】

| 番号 | 議席 | 氏名 | 質問事項 | 質問要旨 | 答弁者 |
|----|----|-------|-------------------------|--|-----|
| 1 | 10 | 名取 武一 | (1) 入笠山固有種の保存について | ① 入笠山の自然保護をどう考えているか。 | 町長 |
| | | | | ② 入笠山の山野草は、入笠山の固有種に戻すべきではないか。 | |
| | | | (2) メガソーラー事業について | ① 事業を開始する前に、町民アンケートなど、町民の意思を確かめるべきではないか。 | 町長 |
| | | | (3) 消費税増税について | ① 消費税増税は、暮らしも経済も財政も悪化させ、町内の中小業者の存続を危うくさせる。消費税増税反対を町からも発信を。 | 町長 |
| | | | (4) 自然エネルギーの導入について | ① 自然エネルギー自給率100%を目指す上で、太陽光発電だけに特化せず、間伐材を利用した木質バイオマス・小水力発電など、町内の潜在力を追求し、幅広く自然エネルギーの活用を進めるべきではないか。 | 町長 |
| | | | | ② 町の自然エネルギーの潜在力を探求し、それを具体化する上でも、「新エネルギー推進協議会」の存在は不可欠。「新エネルギービジョン」を実現する上でも、「推進協議会」の設置を。 | |
| 2 | 8 | 佐久 祐司 | (1) 富士見メガソーラー株式会社について | ① 町民説明会のスケジュールは。 | 町長 |
| | | | | ② 事業実施までのタイムスケジュールは。系統連系協議はいつ終わるのか。 | |
| | | | | ③ 事業性の検証はどのように行うのか。第三者によるチェックも必要ではないか。 | |
| | | | | ④ 富士見町の規模で2億円の投資は大きすぎる。リスク分散の考えは。 | |
| | | | | ⑤ 3セクが一番の問題は不透明性である。事業を実施する場合、運営をチェックする第三者機関を設置すべきでは。 | |
| | | | (2) 給食の放射能対策について | ① 4月より放射能汚染による食品の安全基準が厳格化されたが、その対策をどのように考えているか。 | 町長 |
| | | | | ② 内部被ばくについて、どのような認識を持っているか。 | |
| 3 | 6 | 宮下 伸悟 | (1) 重要施策の年度ごとの透明性向上について | ① 町の重要施策を住民に分かりやすく伝える上での基本的な考え方は。 | 町長 |
| | | | | ② 町長方針による年度ごとの重要施策を課の現場単位で具体化する上で、政策系統の一貫性を明確化するために年度ごとの「課長マニフェスト」を導入し、町民に広く公開してはどうか。 | |

質問順 第463回 平成24年9月定例会 一般質問通告一覧表 富士見町議会 【9/10(月)1番～5番 9/11(火)6番～10番】

| 番号 | 議席 | 氏名 | 質問事項 | 質問要旨 | 答弁者 | | | |
|---|----|-------|-----------------------|---|-------|-------------------|-----------------------------------|----|
| 3 | 6 | 宮下 伸悟 | (2) 町の自然エネルギービジョンについて | ① FMKメガソーラー事業を、町の新エネルギービジョンにどう結びつけていくか。 | 町長 | | | |
| | | | | ② 土地開発公社の不良借入金返済という目的ばかりが先行している印象がある。メガソーラー事業に町長が描く町の未来像、グランドデザインはあるか。 | | | | |
| | | | | ③ 「脱原発依存」が政府の基本方針として打ち出され、再生可能な自然エネルギーが代替エネルギーとして期待される中、メガソーラー事業を今後の町づくりにどう位置付けていくかというビジョンなしに、町民の広範な理解を得ることは難しいと考える。町長の見解は。 | | | | |
| | | | (3) 無料塾について | ① 受講した生徒たちの反応はどうだったか。また、今後の取り組みにどう反映させるか。 | 教育長 | | | |
| | | | | ② 初の無料塾は、ボランティア講師の好意により予算ゼロで実施されたが、今後も取り組みを継続していくのであれば、予算付けは当然欠かせないものとする。無料塾を恒常化していくための予算付けを、どの程度考えているのか。 | 町長 | | | |
| | | | (4) 要援護者支援システムについて | ① 地区との連携構築に向けた取り組み状況と今後のスケジュールは。 | 町長 | | | |
| | | | | ② 町社協、民生児童委員協議会など関係諸団体との協力へ向けた実務的協議の進捗状況は。 | | | | |
| | | | | ③ システムを活用した見守りを実施していく上で、地区の役員や民生委員など一部の人に役割や負担が集中しないよう、日頃の見守りへの協力や役割を地域全体で担う態勢づくりが必要。広く町民全体の理解と協力を得るため、具体的にどのような取り組みを行っているのか。 | | | | |
| | | | | ④ 郵便及び配達業、新聞販売店、配食サービス、電気・ガス・水道事業者など、個人宅を訪問する機会の多い民間業者や団体等と協定を結び、日頃の見守りに協力してもらうという取り組みは、すでに多くの自治体で行っている。当町でも取り入れるべきではないか。 | | | | |
| | | | 4 | 3 | 五味 平一 | (1) 落合小学校の後利用について | ① 落合小学校の後利用について答申が出たが、町長の考えは。 | 町長 |
| | | | | | | | ② 施設全体の今後の具体的活用策について、町として指導はするのか。 | |
| | | | | | | | ③ グラウンド・プールを含む建物外の緑地を町の公園にする考えは。 | |
| ④ 岩本記念館の今後の維持管理をどう考えているか。 | | | | | | | | |
| ⑤ 具体的な活用策が出てきた場合、順次実行するのか。また、維持管理費等は当面町が負担するのか。 | | | | | | | | |

質問順 第463回 平成24年9月定例会 一般質問通告一覧表 富士見町議会 【9/10(月)1番～5番 9/11(火)6番～10番】

| 番号 | 議席 | 氏名 | 質問事項 | 質問要旨 | 答弁者 | |
|----|----|-------|-------------------------|--|---|----|
| 4 | 3 | 五味 平一 | (2) 教員の不祥事といじめ問題について | ① 教員不祥事多発の背景要因は何か。 | 教育長 | |
| | | | | ② 教員の不祥事に対し、どのような指導を行っているか。 | | |
| | | | | ③ 津市立中学校のいじめ問題から端を発し、教育委員会不要論まで浮上している。これについてどう考えるか。 | | |
| | | | | ④ マスコミにより一躍富士見町のいじめに対する取り組みが評価されているが、評価される要素は何か。また、取り組みの水平展開はどのように行われているか。他市町村へも展開していく意向か。 | | |
| | | | (3) 有害鳥獣対策について | ① 町域を囲み込んだ電柵の効果は。 | 町長 | |
| | | | | ② 電柵内の有害鳥獣対策とその成果は。また、今後どのようにして被害を減らしていくのか。 | | |
| | | | | ③ 最近ハクビシン・タヌキ・アライグマ(北関東から北上中)の被害も出ている。この種の動物の被害対策は。 | | |
| 5 | 7 | 小池 博之 | (1) 多発する教員不祥事といじめ問題について | ① 県内公立学校教員の不祥事が続いている。既に4人が逮捕され、懲戒処分は15件に上る。こうした「異常事態」について教育長の考えは。「学校の閉鎖性」が教員の不祥事、いじめ問題の温床となっているとの見方があるが。 | 教育長 | |
| | | | | ② 教員のわいせつ事件やセクハラ行為が跡を絶たない原因の一つとして、「学校現場の多忙化」が挙げられているが、どうか。 | | |
| | | | | ③ いじめ問題は「早期の事実確認と即指導が大切」とされている。町教委は、この問題とどのように向き合っているか。いじめ防止に関し、教委としての規範を考えては。 | | |
| | | | | (2) 自然災害に対する町の防災体制と、広域相互災害支援協定について | ① 大地震、火山噴火、台風、異常気象等身近に潜む危機を知り、これまで以上に防災への備えが求められている。糸魚川ー静岡構造線断層帯上にある当町として、3・11以降、M8程度の地震発生率は14%とされる。地域防災計画の見直しに反映させるのか。 | 町長 |
| | | | | | ② 山梨、静岡では富士山噴火を想定し、広域避難計画の策定が具体化しているが、富士山大噴火を折り込んで町防災強化策をどう考えているか。 | |
| | | | | | ③ 災害時における相互応援協定を西伊豆町・多摩市との間で締結している。更に川崎市やNPO団体、企業を含め模索する考えは。 | |

質問順 第463回 平成24年9月定例会 一般質問通告一覧表 富士見町議会 【9/10(月)1番～5番 9/11(火)6番～10番】

| 番号 | 議席 | 氏名 | 質問事項 | 質問要旨 | 答弁者 |
|----|----|-------|---------------------------------|---|-----|
| 5 | 7 | 小池 博之 | (3) 都市計画道路見直しの方向性と今後のスケジュールについて | ① 計画策定から20年が経過した都市計画道路の見直しの背景について、国の方針、県の考えを踏まえた町としての基本的方針は。計画路線の大幅削減は、既存指定路線関係町民の理解が得られるか。 | 町長 |
| | | | | ② 都市計画道路はこれまで11路線、総延長16.6kmが対象だった。見直しにより約60%削減され、6.7km縮小されると聞いているが、町の中長期的な都市計画構想や用途地区指定、土地区画整理事業との整合性をどう図るのか。 | |
| | | | (4) 「富士見オッコー祭り」について | ① 「笑顔と元気を富士見から」をテーマに富士見OKKOHが開催された。祭典委員長の立場で、今年の祭りをどう総括するか。 | 町長 |
| | | | | ② 来年は第30回の節目の年を迎える。「真の町民の祭り」とするために、実行委員会のあり方を含めこの祭りの将来像をどのように考えているか。 | |
| 6 | 9 | 加々見保樹 | (1) 大規模災害発生後、行政機能を確保するための対策について | ① 庁舎が崩壊等により使用できなくなった際の対応を検討しているか。 | 町長 |
| | | | | ② 理事者が死亡または行方不明になった時、職務代理が即座に対応できる体制になっているか。 | |
| | | | | ③ 戸籍、住民記録などの重要情報、永年保存の重要書類等の喪失を防ぐ対策をしているか。 | |
| | | | | ④ 集中改革プランにより職員数のスリム化を図っている中で、大災害発生時にはあらゆる事態に対応しなければならない。すべての職員に初動任務はきちんと割り振られているのか。 | |
| | | | | ⑤ 高齢化率の高い富士見町では、学校等への一時避難後、避難者の健康を最優先として高齢者には旅館、ホテル等への二次避難ができるよう、ホテル等と受け入れに関する協定を結んでおく必要があると思うが、町の考えは。 | |
| | | | (2) 小児の予防接種について | ① 厚生労働省はヒブワクチン、肺炎球菌ワクチンを任意接種から2013年度定期予防接種の対象とする方針を固めたようだが、そうなった場合町の負担がなくなるので、ロタウイルスワクチンを全額町費負担とし、より多くの小児が接種できるようにしたらどうか。 | 町長 |
| | | | (3) 高齢者運転免許自主返納制度について | ① 4月からこの制度を施行しているが、現在までの返納実績は。 | 町長 |
| | | | | ② 町民にこの制度を周知するために、どのような方法をとったか。 | |
| | | | (4) 広告募集について | ① 3月定例会の一般質問で4月から町広報とホームページへのバナー広告を募集するとの答弁であったが、応募状況は。 | 町長 |
| | | | | ② 募集はどのような方法で行ったか。また、現在も募集しているか。 | |

質問順 第463回 平成24年9月定例会 一般質問通告一覧表 富士見町議会 【9/10(月)1番～5番 9/11(火)6番～10番】

| 番号 | 議席 | 氏名 | 質問事項 | 質問要旨 | 答弁者 |
|--|-------------------------|--|--------------------|---|------------------------------|
| 7 | 5 | 平出 隼仁 | (1) 固定資産税の課税について | ① 固定資産税が適正に課税できるように、どのような調査及び事務手続きを行っているか。 | 町長 |
| | | | | ② パノラマスキー場はその事業性から開発許可を取得し、事業用地として個人・法人から借りている。固定資産税は現況課税なので、実態として「雑種地」又は「宅地」が適切であると判断するが、なぜ山林若しくは原野での課税なのか。 | |
| | | | | ③ ②において、この課税が適切であるとすれば、その他の現況で課税されるものとはどのような違いがあるのか。 | |
| | | | | ④ ②において山林若しくは原野で課税すると、課税標準額が低くなるので、結果として税収の減になる。富士見町税条例において、「減免できる」と判断できる条文が見つからない中、「宅地や雑種地」と「山林や原野」とのかけ離れた課税に対し、町はどのように考えているか。 | |
| 8 | 2 | 小池 勇 | (1) 無料塾の総括について | ① どの様な成果が得られたか。 | 教育長 |
| | | | | ② 今後の課題と対応策は。 | |
| | | | | ③ 課題解決のための予算措置は。 | |
| | | | (2) 太陽光発電所建設計画について | ① 林地開発に問題点はないか。 | 町長 |
| | ② メーカー選定にあたっての具体的な考え方は。 | | | | |
| | ③ 関係する企業が倒産した場合の対応は。 | | | | |
| | ④ 当初の枠組みに対するずれはないか。 | | | | |
| | 9 | 1 | 三井 新成 | (1) 耕作放棄地対策について | ① 耕作放棄地の現状をどう考え、減らす努力をしているか。 |
| ② 耕作放棄地に農作物を栽培して、有機再生エネルギー源として利用する考えは。 | | | | | |
| ③ バイオマスエネルギーとしての利用を目的に、農作物栽培に取り組む考えは。 | | | | | |
| ④ ②③の準備段階として、研究機関等の検討、町内誘致、施設提供等の支援をする考えは。 | | | | | |
| (2) 防犯対策について | | ① 町内で発生した詐欺、空き巣ねらい、車上荒らし等の犯罪について、どう考えているか。 | 町長 | | |
| | | ② それぞれの事犯に対して、行政としてどのような対策をとってきたか。 | | | |
| | | ③ 犯罪を抑止するために、町内各所に防犯カメラ等を設置する考えは。 | | | |

質問順 第463回 平成24年9月定例会 一般質問通告一覧表 富士見町議会 【9/10(月)1番～5番 9/11(火)6番～10番】

| 番号 | 議席 | 氏名 | 質問事項 | 質問要旨 | 答弁者 | | | | |
|--|---|-------|-------------------|--|-----|-------|--------------------------|--|----|
| 9 | 1 | 三井 新成 | (3) 産業構造の変化について | ① 第二次産業の仕事量が減り、町内の小規模、零細企業も経営が苦しくなっているが、この現状をどう考えるか。 | 町長 | | | | |
| | | | | ② 今後、行政として何をサポートしていく考えか。 | | | | | |
| | | | | ③ 現業と並行して行えるような事業をつくり出す考えは。 | | | | | |
| | | | | ④ 若者に仕事の紹介、斡旋等を行うビジネスサポートセンターをつくる考えは。 | | | | | |
| | | | (4) 太陽光発熱実験施設について | ① 三鷹光器富士見研究所施設の後利用を考えているか。 | | 町長 | | | |
| | | | | ② 考えがあるとすれば、いつ頃どのような形で発表できるか。 | | | | | |
| | | | 10 | 4 | | 小林 市子 | (1) 町長3年間の実績とこれからの課題について | ① 町長として勤めた3年間の実績と評価は。 | 町長 |
| | | | | | | | | ② パノラマリゾートの経営状況(広報8月号)で、町長が示す一般会計への実質的貢献額とは、町の貸付金を長期間で返すという約束の返済金ではないのか。 | |
| ③ 国交省方針で示された「コンパクトシティ」形成の整備事業こそ、富士見町のまちづくりに町長が使命感を持って取り組むべき課題では。 | | | | | | | | | |
| ④ 景観への配慮として、諏訪南インターの玄関口であるテクノ街道沿線の支障木を伐採(整備)する考えは。 | | | | | | | | | |
| (2) 町長が社長として設立したFMK(富士見町メガソーラー株式会社)について | ① 脱原発について国の基本方針と方向性が定まらない中、FMK(富士見町メガソーラー株式会社)の設立は、時期尚早ではないか。 | 町長 | | | | | | | |
| | ② 町民が正しい情報を得ていないFMK(富士見町メガソーラー株式会社)は、官民合意と認められる第3セクターと言えるのか。 | | | | | | | | |
| | ③ メガソーラー事業を支える専門家の登用状況は。また、株式会社の仕事と町職員の仕事のけじめは出来ているか。 | | | | | | | | |